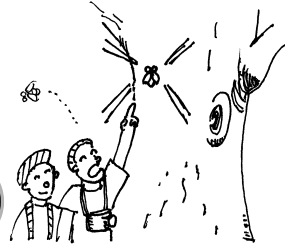


シリーズ

阿久比を歩く⑩



あぐいぶらり旅 自然を求めて



セミのぬけがら



真っすぐに伸びるクロガネモチ



気持ちよさそうに阿久比川を泳ぐカモの親子

白沢地区の八幡社周辺を散策した。民家の前に一本目立つ木（クロガネモチ）がある。県道を車で通る際よく目に付く木だが、近くで見ると太い幹が上の方に真っすぐに伸び、スタイルの良い木だ。その木を横目に八幡社へ向かう。

とても蒸し暑い日だった。神社境内は大きな楠が何本も茂っている。セミの鳴き声がすごい。木を眺めるとセミのぬけがらがあつた。すぐ隣ではアブラゼミが鳴いていた。手を伸ばせば届きそうな距離だったので捕まえようと思った瞬間、何やら水らしきものを放ち、別の木へ移動してしまった。

八幡社を後にして細道を北に向かう。神社の境内からは気づかなかつたが、左手前方の神社裏は壮大な森が広がっている。普段は何気なく見ている景色も、あらためて見てみると緑の豊かさに驚く。

目の前を大きなトンボが飛ぶ。オニヤンマだ。息を潜め、飛んでいる姿をずっと追い続けた。竹林の笹の

葉に止まる。証拠写真をとる思いでジタルカメラに一枚「パシッ」。(ピンが笹の葉に合い、オニヤンマはピンボケ)

農道を抜け、阿久比川堤防沿いを歩く。七月二十四日にこの堤防でかがり火がたかれ、ちようちん行列が行われた。川の水は緩やかに流れている。鳥たちが川の中に降り立ち、水浴びをしていた。とても気持ちよさそうだ。トンボたちもペアで寄り添うように水辺を飛びかっている。のどかな風景だ。水の流れをじっと眺めていると、暑さも忘れ、そして時の経つのも忘れそうになる。

空がだんだん暗くなってきた。遠くの方から「ゴロゴロ」と不気味な音が聞こえてくる。そろそろ今日のぶらり旅は終わりにしよう。

今回は板山地区周辺を散策します。

